

Treatment

Replacement Arthroplasty 4

適応

- 膝関節 #1
- 股関節

人工関節の適応と合併症

適応

- 非感染性疾患（変形性関節症、関節リウマチ、腫瘍の手術後の再建、外傷など）
- 疼痛、可動域障害が著しく、日常生活に大きな支障をきたす。
- 比較的高齢者

合併症

- 早期：
 - 血管・神経の損傷
 - 脱臼
 - 感染
 - 深部静脈血栓症
 - 肺動脈塞栓症など
- 晩期：
 - 感染
 - ゆるみ
 - 脱臼
 - 器具の磨耗
 - 骨溶解

など

Rehab 7

- 大腿四頭筋 筋力強化

下肢装具

	股	長下肢	膝	短下肢
装着部位	骨盤部～大腿部	大腿部～足部	膝部	下腿部～足部

TKA 人工膝関節置換術 2

人工関節置換術 TKA Total Knee Arthroplasty の適応

- RA
- 変形性膝関節症
- 腫瘍手術後
- 特発性膝骨壊死
- 血友病性関節症

人工膝関節

【適応】

- 変形性膝関節症
- 関節リウマチ
- 骨壊死

【特徴】

- 除痛効果は優。
- 内反変形（O脚）の矯正可能。
- 可動域は10°～100° 前後
- 長期間では破損するのでできるだけ60歳以上に行う。

Warm 温熱理学療法の分類 1

表在温熱

a. 輻射熱（乾熱）

- 赤外線
- レーザー

b. 伝導熱（過熱）

- ホットパック
- パラフィン浴

c. 対流熱

- 水治療法（温熱）
 - 渦流浴
 - 気泡浴
 - 温泉
- 熱気浴（乾熱）
 - サウナ

交換熱（乾熱）

- 超短波
- 極超短波
- 超音波

- 大腿四頭筋 筋力強化

動作を調節・固定する 関節	股関節	膝関節・足関節	膝関節	足関節
主な適応	変形性骨関節 症	脳血管障害後の重症片 麻痺 大腿骨骨幹部骨折	変形性膝関節 症 膝関節炎 膝靱帯損傷	脳血管障害後の軽度片麻痺 足関節背屈困難な場合（下垂足な ど）

損傷レ ベル	主な動作 筋	運動機能	移動	自立度など
C1-C3	胸鎖乳突 筋	頭部の前屈・回転	電動車椅子（下顎などを力源と して操作）	人工呼吸器，全面介助
C4	横隔膜 （C3～ C5） 僧帽筋	呼吸，肩甲骨挙上		全面介助（環境コントロール・システム にて部分自立）
C5	三角筋 <u>上腕二頭 筋</u>	肩関節屈曲・外 転・伸展， 肘関節屈曲・回外	<u>車椅子駆動可能</u> （平地のみ，ハンドリムに要工 夫）	重度介助 ● 自助具による食事動作 ● スリング使用により体位変換可
C6	大胸筋 橈側手根 伸筋 腕橈骨筋	肩関節内転 手関節背屈	車椅子駆動可能	中等度介助 ● 寝返り ● 上肢装具などを使って書字可 ● 更衣一部自立
C7	<u>上腕三頭 筋</u> 橈側手根 屈筋	肘関節伸展 手関節掌屈	● 車椅子駆動 ● <u>移乗動作可能</u> （ベッド⇔車椅子⇔トイレ） ● 自動運動可	車椅子での日常生活 ほとんど自立
C8-T1	指の屈筋 群 手内筋	指の屈曲 手の巧緻運動	● 車椅子駆動 ● 自動車運転	車椅子での大部分の日常生活自立
T6	上部肋間 筋 上部背筋	呼吸予備力増大 上部体幹の安定性	● 骨盤帯付長下肢装具・松葉杖 にて歩行可 ● 実用的には車椅子	介助はほとんど不要
T12	腹筋 胸椎部背 筋	骨盤帯挙上	● <u>長下肢装具</u> ● 松葉杖にて歩行可（階段昇降 可）	
L4	大腿四頭 筋	膝関節伸展	● 短下肢装具 ● 一本杖にて歩行可能	

Quiz

18 Qs / 18

98G119 緊急処置の適応

M M

緊急処置の適応でないのはどれか。

- a. 股関節脱臼
- b. 坐骨神経断裂
- c. 膝窩動脈損傷
- d. 頸髄不全損傷
- e. 中手骨開放骨折

False: b

- a. 股関節脱臼 → 大腿骨頭壊死
- b. 神経断裂したら結果は同じ
- c. 動脈損傷
- d. ステロイド, 全身管理
- e. 開放骨折 ≤ 6hr

105D19 緊急手術 適応

C C

緊急手術を要するのはどれか。3つ選べ。

- a. 蜂巣炎
- b. 壊死性筋膜炎
- c. Brodie骨膿瘍
- d. 手の化膿性腱鞘炎
- e. 乳児化膿性股関節炎

True: b d e

- a. 蜂巣炎:
 - 冷却
 - ABx
- b. 緊急のデブリードマン
 - ABx
 - 高気圧酸素治療
- c. 慢性骨髓炎
- d. 緊急ドレナージ
- e. 緊急ドレナージ